

## 路上での死亡は、2月が最も多い

ちょっと古い数字ですが、傾向は変わらないと思われま

路上での死亡(凍死)は、2月が最も多い。3月も...

状況は大きく変わっていますが、傾向は同じ？

少しというか、随分前というか、10年以前、大阪市

内野宿者が1万人とも言われた2000(平成12)

年、路上等で死亡した人は213人とされています。

そのうち、「餓死」が10人、「凍死」が17人だった

そうです。これは、監察医が職務に従って解剖した結

果です。

「凍死」17人の月別内訳は、2月が10人で、3月が

3人、1・4・12月が各二人だったということです。

「10年一昔」といいますが、この間、大阪市内の目

に見える野宿者は少なくなり、路上での死を迎える

人の数は少なくなっているようです。

それでも、センター周辺で亡くなる人は、絶えませ

ん。

何十年前にも盛んに唄われた歌に、

『海行かば水漬(みづ)く屍(かばね)／山行か

ば草生(くさむ)す屍』というのがありますが、そ

れを模して唄えば、

『街行かば路に伏す屍(かばね)／公園行かば草

生(くさむ)す屍』ということになります。

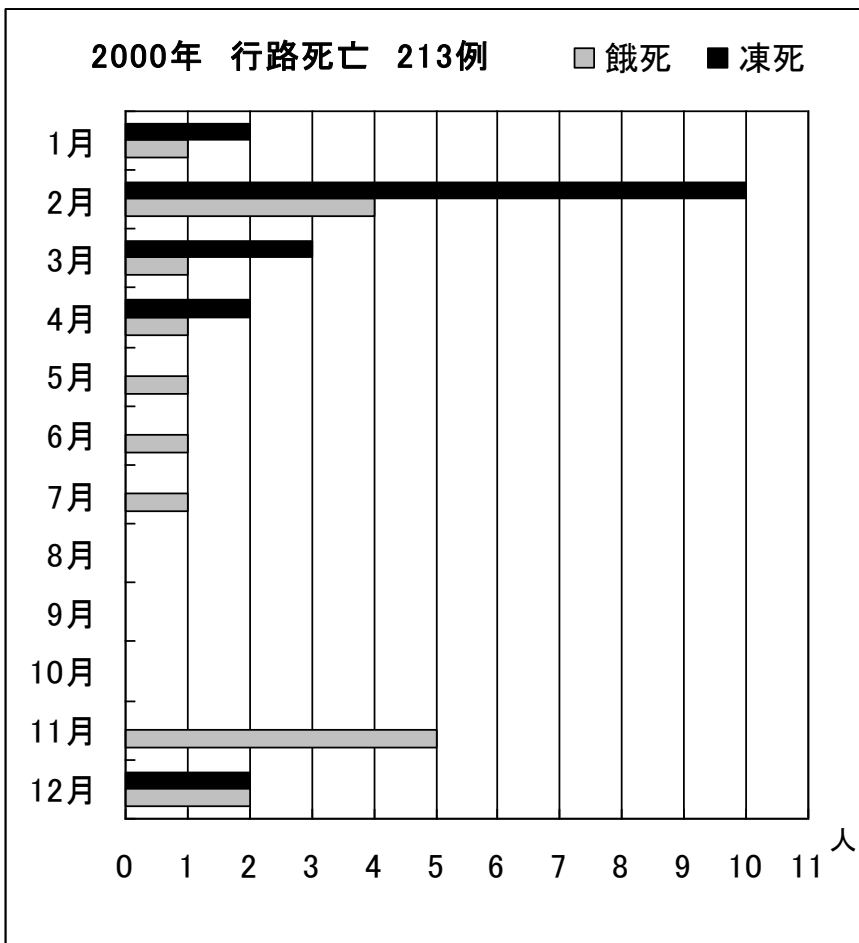
何十年前にも盛んに唄われた歌の続きは、『大君(お

おきみ)の辺(へ)にこそ死なぬ／かへりみはせじ』

となっています。

『街行かば路に伏す屍(かばね)／公園行かば草

生(くさむ)す屍』の続きは、どう続けるべきでしょ



うか。『己が悔いの中にこそ死なぬ／かへりみはせじ』とでもすべきでしょうか。

「死んでいった人の気持ちには分らん」。そう、「死者は黙して語らず」です。

何十年前も前に盛んに唄われた歌は、出征兵士を送る時に唄われた他、ラジオで大本営発表として「玉砕」を伝える時の冒頭歌として流されたそうです。

『水漬(みづ)く屍(かばね)／草生(くさむ)す屍』は、赤紙で徴兵された、実態的には強制された死といえますが、唄は、それらの死を、自己献身の死と置き換えています。唄は、その感覚を広め、定着させる役割をはたしました。

現代の『路に伏す屍(かばね)／草生(くさむ)す屍』は、その死に方を強制する態勢がもはや存在しないので(少なくとも露骨な戦時国家ではなく、生保活用の道は広くなっている)、「己が悔い」による自己選択の結果と言い切っているのでしょうか。

人は、さまざまに生きて、そして、さまざまに死ぬ。こんな問いかけは、大きなお世話かも知れません。今日の続きが明日で、今日の続きの明日の続きの、更にその先に死がある。それだけのことですが、今日の選択に、最善を求めるのが、「人」というものではないでしょうか。

生活保護は、無差別平等、困窮の事実に基づいて、誰でも(永住権を持つ外国人を含む)活用することが出来ます。

65歳以上でなければ、あるいは病気でなければ受けられない、というのはウソです。

大阪市立更生相談所(市更相)は、阪堺線の東側、公衆便所横のガードを東に抜けて、交差点を渡ったところにある建物です。

医療センター(大阪社会医療センター)は、「ある時払いの催促無し」、借用書で受診できる医療機関です。市更相あるいは西成労働福祉センターで診療依頼券をもらってから行く必要があります。

医療センターは、センターの建物外の東側に入り口があります。

「自助努力援助のための手引き書—生活保護は怖くない」(無料)をまだ受け取っていない人は、声を掛けてください。手引き書を読んだ後は、役所で保護申請、不動産屋へ。

20歳から50歳代前半くらいまでの人は、自立支援センターを活用する道もあります。寝場所・食事を提供し、就職活動を支援する施設です。入所希望者は、大阪市立更生相談所(市更相)で相談を。

### 不動産屋さん紹介(気軽に相談を。しかし、真剣に)

※ 双葉商事さん(電話~~06・6561・4392~~)

鶴見橋商店街の奥(西の端)。敷金不要の今すぐ入れる物件もあります。勿論、風呂付き敷金要の物件も。とりあえず電話で時間を決めて、その後の段取りを決めましょう。

※ フラップさん(電話~~06・6658・8888~~)

26号線花園交差点、イズミヤの南6~7メートル。西成区以外の物件もあります。

必ず、実物(部屋)を2~3見て比較、周囲の環境を考えて、得心して決めましょう。